

第21回菊池郡市ゲートボール審判員大会 7月10日(金)

熊本県ゲートボール連合(荒木百十男会長)主催により、菊池市営ゲートボール場で開催されました。

郡市町村代表 24 チームが日ごろの練習の成果を競い合い、熱戦が繰り広げられました。優勝した七城町の歌丸チームは、全試合パーフェクトゲームで見事栄冠を手に入れました。

上位の結果は次のとおりです(敬称略)。

- 優勝 七城1(歌丸チーム)
- 準優勝 菊池6(龍門チーム)
- 3位 菊池4(隈府チーム)、西合志(須屋チーム)



優勝した歌丸チームのメンバー

菊池市管内40営農部会合同講演会 7月17日(金)、18日(土)

七城公民館と水稲栽培水田で、環境負荷低減作物の栽培に取り組む40組織の農地・水・環境対策営農部会が合同で講演会と技術研修会を実施しました。講演会には200人が参加し、農業技術士1級環境管理士の山本 徳氏が「健全な土づくりによる有機農業と環境保全」と題して講演しました。

また、この事業実施に関連した効果として、平成20年産「七城の米」が、日本穀物検定協会主催の食味会で最高の栄誉である「特A」を見事受賞しました。



講演会の様子

第3回東京菊池会総会開催 7月12日(日)

東京菊池会(平山正剛会長)の第3回総会が、東京で開催されました。総会あとの懇親会『ふるさと菊池のつどい』には、たくさんの皆さんが参加され、菊池市の農・畜産物や特産品のPRを兼ね、菊池市のふるさと産品が当たる抽選会も行われ、大変盛り上がりしました。今年は、菊池地域農協の川口組合長が「ちょっと贅沢な贈り物」という旬の農産物の詰め合わせギフトセットの紹介と、七城のこめ、2009モンドセレクションで大金賞を受賞した2種類の焼酎のプレゼントが行われ、大賑わいでした。



「ふるさと」を合唱される出席者の皆さん

ゲームを通して子どもとふれあう 7月28日(火)

戸崎支館で、菊池市更生保護女性会(高山和子会長)が子どもたちと触れ合いました。青少年の健全な育成の手伝いをしている同会が、夏休みに入った子どもたちと遊ぼうと企画したもので、戸崎小学校の児童16人が参加しました。

高山会長が「今日はみんなと仲良くなろうと思ってきました。楽しんでください」とあいさつ。じゃんけんやタンパリンを使った遊びを体験した子どもたちは、笑顔と笑い声に溢れていました。



じゃんけんゲームをする子どもたちと会員

ひとの思いと願いに向き合うこと 7月22日(水)

菊池市中央公民館において、「傾聴ボランティア養成第一講座」が開催され、熊本学園大学和田 要教授の講演に受講者約50人が熱心に聞き入りました。社会福祉の観点から、行政にできること、民間にできること、そして一人ひとりにできることについて、ともに考えました。

参加者は「病気などで苦しんでいる人のお役に立ちたい。心を少しでも軽くしていただけるように」「傾聴は人間関係の要、この研修で自己を高めたい」などと話していました。



講演に熱心に耳を傾ける参加者たち

第16回七城映画の日 8月1日(土)

七城町商工会青年部(木野祐樹部長)が平成6年度より、映画を通じて町活性化を図ろうと毎年実施しているもので、今年で16回目です。

昼は、七城産米粉を使った米粉麺で1,000人焼きそばを実施。はじめて食べる米粉麺焼きそばには長蛇の列ができ、またJA主催のカヌー教室もあり、会場は賑わいをみせていました。

夕方からの第2部は天守太鼓で幕が開け、〇×クイズ、ミニライブの後、ドラえもん映画を上映し、天候にも恵まれ大勢のお客さんで賑わいました。



長蛇の列ができた1,000人焼きそば

第22回きくち童謡唱歌祭 8月2日(日)

菊池市文化会館で、きくち童謡唱歌祭の本選が開催されました。応募総数85組の中から選ばれた35組が参加し、歌声を競いました。

本選に出場した子どもたちは、少し緊張しながらも、マイクを使わない澄んだ歌声で会場内を包み込み、応援に来ていた家族や友だちを、童謡の世界に引き込んでいました。

上位の結果は次のとおりです。(敬称略)
特別賞(宮本トミヨ賞)
原本麻美絵(龍門小6年)、谷川綾香(菊池北中1年)



特別賞を受賞した谷川さん(左)と原本さん(右)

全国高校総合文化祭出場 8月4日(火)

菊池女子高等学校郷土芸能部が全国高校総合文化祭への出場を報告するため、福村市長を表敬訪問しました。

同祭吟詠剣詩舞部門に熊本県代表の一員として参加し、菊池一族の漢詩に合わせて舞を披露した生徒たちは、「すごく不安でしたが、たくさんの人に応援してもらい、自信をつけて本番で踊ることができた。これからも菊池のイベントなどでアピールしていきたい」と話していました。



参加した感想を話す生徒たち